

第12号様式(第6条関係)



令和5年4月28日

那覇市議会議長
野原 嘉孝 様

議員名 前泊 美紀 印

令和4年度政務活動費収支報告について

那覇市議会政務活動費の交付に関する 条例第8条 第1項 の
規定に基づき、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提
出します。

記

令和4年 4月分 ~ 令和5年 3月分

令和4年度政務活動費収支報告書

議員名 前泊 美紀

1 収 入

政務活動費 1,080,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0円	
研 修 費	58,800円	
広 報 費	0円	
広 聴 費	448,395円	
要請・陳情活動費	0円	
会 議 費	0円	
資 料 作 成 費	0円	
資 料 購 入 費	181,448円	
人 件 費	0円	
事務所費	0円	
合 計	688,643円	

3 残 額 391,357 円

令和4年度 会計明細

議員名 前泊 美紀

項目合計 / 支出 区分	種別	集計(円)
1 調査研究費	1. 交通費 ガソリン代	0
	1. 交通費 駐車料金	0
	1. 交通費 タクシー料金、車両借り上げ料	0
	1. 交通費 モノレール料金	0
	1. 調査委託費	0
	1. 携帯電話（月額1/2以内、上限1万円）	0
	1. インターネットに係る経費（月額1/2以内、上限1万円）	0
	1. 視察旅費	0
	1. 視察旅費	0
	1. その他	0
	調査研究費 集計	0
2 研修費	2. 研修旅費	58,800
	2. 参加費等	0
	2. その他	0
研修費 集計	58,800	
3 広報費	3. 資料印刷・印刷製本費	0
	3. 文書通信費（通信運搬費）	0
	3. 文書通信費（広報WEB作成管理費）	0
	3. 会場費	0
	3. 交通費 駐車料金	0
	3. 広報用消耗品代	0
	3. その他	0
広報費 集計	0	
4 広聴費	4. 交通費 駐車料金	0
	4. 交通費 タクシー料金、車両借り上げ料	0
	4. 交通費 モノレール料金	0
	4. 会場費	0
	4. その他	448,395
広聴費 集計	448,395	
5 要請・陳情活動費	5. 要請・陳情旅費	0
	5. 資料印刷・印刷製本費	0
	5. その他	0
要請・陳情活動費 集計	0	
6 会議費	6. 会議旅費	0
	6. 会場費	0
	6. 資料印刷・印刷製本費	0
	6. その他	0
会議費 集計	0	
7 資料作成費	7. 資料印刷・印刷製本費	0
	7. 事務機器購入	0
	7. 事務用品等消耗品代	0
	7. その他	0
資料作成費 集計	0	
8 資料購入費	8. 書籍購入費	148,448
	8. 新聞雑誌購読料	33,000
	8. 有料データベース利用料等	0
	8. その他	0
資料購入費 集計	181,448	
9 人件費	9. 雇用経費	0
	9. その他	0
人件費 集計	0	
10 事務所費	10. 事務所の賃借料	0
	10. 事務所駐車場の賃借料	0
	10. 維持管理費	0
	10. 固定電話（月額1/2以内、上限1万円）	0
	10. 事務機器購入	0
	10. 備品	0
	10. リース代等	0
	10. その他	0
事務所費 集計	0	
総計		688,643

残 額

391,357

会計帳簿(項目別)

2022年度

議員名 前泊 美紀

1. 調査研究費

整理番号	年月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
1, 調査研究費 総合計					0	0			

2. 研修費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
研修旅費									
1	2022年8月18日	2.研修旅費			17,450	8,800		100%	
2	2023年2月3日	2.研修旅費			25,000	25,000		100%	
3	2023年2月9日	2.研修旅費			25,000	25,000		100%	
4		2.研修旅費				0		100%	
2, 研修費 総合計					67,450	58,800			

3. 広報費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
資料印刷・印刷製本費									
1	1	3.資料印刷・印刷製本費	議会報告資料			0			
1	2	3.資料印刷・印刷製本費	議会報告資料			0			
小計					0	0			
文書通信費(通信運搬費)									
1	1	3.文書通信費(通信運搬費)	報告金案内文送料			0		100%	0
3, 広報費 総合計					0	0			

4. 広聴費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
広聴費									
1	2023年3月30日	4.その他	地域円卓会議		456,790	448,395			0
小計					456,790	448,395			
合計					456,790	448,395			
4, 広聴費 総合計					456,790	448,395			

5. 要請・陳情活動費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
要請・陳情旅費									
1		5.要請・陳情旅費				0		100%	
総合計					0	0			

6. 会議費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
会議費									
1		6.資料印刷・印刷製本費				0			
5, 会議費 総合計					0	0			

7. 資料作成費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
事務機器購入									
1	1	7.事務機器購入				0		0.5	0
7, 資料作成費 総合計					0	0			

会計帳簿(項目別)

2022年度

議員名 前泊 美紀

8.資料購入費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
書籍購入費									
1	1	8.書籍購入費		日経グローバルR4分	64,680	64,680		100%	0
1	1	8.書籍購入費		議員NAVE Plus5カ月分	8,250	8,250		100%	0
2	1	8.書籍購入費		議員NAVE Plus7カ月分	11,550	11,550		100%	0
1	1	8.書籍購入費		ぎょうせい6冊分	13,000	13,000		100%	0
2	1	8.書籍購入費		失敗しないためのシエンダー表現	1,650	1,650		100%	0
小計					99,130	99,130			
1	1	2022年6月24日	8.書籍購入費		9,400	9,400		100%	0
2	1	2022年7月19日	8.書籍購入費		6,075	6,075		100%	0
3	1	2022年9月15日	8.書籍購入費		9,143	9,143		100%	0
4	1	2022年9月15日	8.書籍購入費		5,365	5,365		100%	0
5	1	2022年11月8日	8.書籍購入費		4,842	4,842		100%	0
6	1	2022年3月5日	8.書籍購入費		9,338	9,338		100%	0
7	1	2022年3月5日	8.書籍購入費		5,155	5,155		100%	0
小計					49,318	49,318			
新聞雑誌購読料									
1	1	8.新聞雑誌購読料		建築新聞	33,000	33,000		100%	0
小計					33,000	33,000			
8, 資料購入費 総合計					181,448	181,448			

9.人件費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
雇用経費									
1	1	9.雇用経費				0		100%	0
小計					0	0			
9, 人件費 総合計					0	0			

10.事務所費

整理番号	月日	経費種類	その他(内容)	補足	支出額	政務活動費	備考	採分比率	上限額
事務所の賃借料									
1	1	10.事務所の賃借料	賃料	4月~3月		0		100%	0
事務所駐車場の賃借料									
1	1	10.事務所駐車場の賃借料	賃料			0		100%	0
小計					0	0			
維持管理費									
1	1	10.維持管理費	光熱水費			0		100%	0
1	2	10.維持管理費	光熱水費			0		100%	0
小計					0	0			
2	1	10.維持管理費	光熱水費			0		100%	0
2	2	10.維持管理費	光熱水費			0		100%	0
小計					0	0			
10, 事務所費 総合計					0	0			

政務活動費充当額(円)	
全体合計	688,643

	支出額	政務活動費	残額
全体合計	705,688	688,643	391,357

研 修 費

令和 4 年 8 月 30 日

那覇市議会議員 様

会派名 無所属の会

議員名 前泊 美紀



出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

期 間	令和 4 年 8 月 22 日 ~ 令和 4 年 8 月 26 日 4泊 5日	
月 日	日 程	内 容
8・22	多文化共生の地域づくり コース (JIAM 主催)	多文化共生施策の現状と課題 地域における多文化共生施策の推進 他
8・23	同 上	学校の教育支援/市町村の多文化共生施策 在日外国人における高齢者の現状・課題
8・24	同 上	災害時対応 / 生活相談 / 地域における日本語学習支援
8・25	同 上	医療・母子保健 講義ふりかえり・討議・発表資料作成
8・26	同 上	発表・講評・全体ふりかえり

市内を含む旅費明細 (1 名分)

航空賃	宿泊費	交通費	負担金	その他	合 計
円	2,300 円	円	6,500 円	円	8,800 円

[所 見]

多文化共生施策の総合的な現状と課題から教育、医療、災害時対応等の様々な分野まで、実践例を交えて多角的に学ぶことができた。研修の成果をいかし、那覇市での多文化共生の現状と課題等の全体像を議会質問や調査等を通して捉え、本市でのニーズを把握する中で、当事者や支援者とともに取り組みたい。日本語学習支援など、人材育成と確保も喫緊の課題のひとつであると考えている。

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

1

領収書 No ①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

おきん キャッシュカードご利用明細

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合はご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容	取引日
お支払	040818

センター取引時刻	取引金額
	¥17,450
センターコード	お取引後残高
備考(手数料)	
*****	テスワリヨウ ¥325
	オツリ ¥0

お振込先

お受取人 サイセソコクシチヨウソン
ケンシユウサ イタン 様
ご依頼人 マエトマリ ミキ 様

振込日 04.08.18

◎沖縄銀行

充当額 8,800円

全国研第369号
令和4年7月11日

沖縄県 那覇市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 藤田 穂

滋賀県大津市唐崎二丁目1-3番1号



研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしく願います。

氏名	前泊 美紀
コース名	令和4年度第1回多文化共生の地域づくりコース
研修期間	令和4年8月22日（月）～ 8月26日（金）

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただきます、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：17,450円 〈内訳〉 研修費(@1,300) 6,500円
食費 ▲8,650円
研修生活動費 2,300円

(2) 指定期間： 令和4年8月15日（月）～ 8月19日（金）

(3) 指定口座：滋賀銀行 唐崎支店 普通 No.461158
みずほ銀行 大津支店 普通 No.1705329
名義人：ザイ センコクジョウリョクシユウサ イダン
センコクジョウリョクサイブンカクシユウシヨ
(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

2 受講者に対する連絡指導について

同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整えたうえ、所定の日時（令和4年8月22日 11:00～12:00）に研修所に入所するよう指導してください。

- ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
- ・受講される皆さまへ
- ・時間割
- ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図

3 受講者を研修に専念させることについて

研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合により途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けることのないよう、事前準備についてお伝えください。

4 研修所への利用交通機関等について

研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は停車しませんので、ご注意ください。

所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。

5 最終日の宿泊について

最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手当の支給等の用意をお願いします。

最終日の研修終了時刻は、14:40頃です。

6 受講申込みの取消等について

この受講決定通知受領後の申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。

疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合や受講者を変更しなければならないこととなった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連絡してください。

なお、受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の費用等）が発生することがありますので、ご了承ください。

7 途中退所について

研修期間中、受講者に、他の受講者等に著しく迷惑を及ぼす行為、研修所の規律を乱す行為その他公務員としてふさわしくない行為が認められる場合は、貴職に通知したうえで、退所を命ずることがあります。

8 感染症等への対応について

当研修所では、集団研修を実施している組織として、感染症等の予防の徹底等に努めているところですが、受講者の安全性の確保が必要です。これらに該当する方の受講をご遠慮いただくことがあります。あらかじめご了承ください。

9 問い合わせ先

全国市町村国際文化研修所（JIAM）

【研修に関すること】 教務部 TEL 077-578-5932 担当：福井、福本
【経費納入に関すること】 経理課 TEL 077-578-5931

令和4年度

多文化共生の地域づくりコース

この研修は、地域における多文化共生の課題を分野別に学び、自治体やその関係団体が施策を展開する際に、多文化共生に配慮できるよう理解を深めます。

また、外国人住民と共に、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に地域で暮らしていく多文化共生の地域づくりに必要な人材の養成を目的に実施します。

研修のポイント

- 多文化共生に関する基礎知識を習得し、地域における課題を分野別に理解する。
- 外国人住民の持つ多様な文化や価値観を理解する。
- 各部局において、多文化共生の地域づくりを意識しながら職務を遂行できる能力を身に付ける。

※ 修了者の方を「JIAM多文化共生地域づくりサポーター」に認定します。
 ※ 本研修は、(一財)自治体国際化協会 (CLAIR) との共催で実施します。

開催要領

日程

第1回 令和4年8月22日(月)～8月26日(金)(5日間)
 第2回 令和5年1月30日(月)～2月3日(金)(5日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

- 市区町村・都道府県の職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員で、多文化共生に関心のある方(国際・多文化共生担当課以外の方も受講できます。)
 - 市区町村議会議員
 - 多文化共生、福祉、教育等の分野で地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPOまたはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方
- 5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

各回30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,950円 (一財)自治体国際化協会からの助成対象外の方は17,450円
 (一財)自治体国際化協会からの助成(研修費6,500円)後の額です。
 ※助成の内容については、裏面をご覧ください。
 ※左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

第1回令和4年7月4日(月)まで
 第2回令和4年12月5日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

受講決定

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
 [Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
 ※NPO、NGOの職員の方がお申したい場合は、受講推薦書が必要になります。
 受講推薦書はJIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。
 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

1日目(月)

- 11:00 ~ 入寮受付・昼食
- 12:30 ~ 開講・オリエンテーション
- 13:00 ~ 15:35 **講義** 多文化共生施策の現状と課題
- 15:50 ~ 17:00 **講義** 地域における多文化共生施策の更なる推進に向けて
- 17:05 ~ 17:45 **演習** 演習導入
- 18:00 ~ 交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

2日目(火)

- 9:25 ~ 12:00 **講義** 学校の教育支援 ~地域と学校の連携~
- 13:00 ~ 14:10 **事例** 市町村における多文化共生施策
- 14:25 ~ 15:35 **事例** 在日外国人における高齢者の現状・課題
- 15:50 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議
- 17:00 ~ **課外学習**

3日目(水)

- 9:25 ~ 10:35 **事例** 災害時対応
- 10:50 ~ 12:00 **事例** 生活相談
- 13:00 ~ 14:10 **講義** 地域における日本語学習支援
- 14:25 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議
- 17:00 ~ **課外学習**

4日目(木)

- 9:25 ~ 12:00 **講義** 医療・母子保健
- 13:00 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議・発表資料作成
- 17:00 ~ **課外学習**

5日目(金)

- 9:25 ~ 14:10 **演習** 発表・講評・全体ふりかえり
- 14:10 ~ 14:40 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

研修ファシリテーターの紹介

第1回 (公財) 箕面市国際交流協会 事務局次長 ^{いわき} 岩城 あすか 氏

大阪外国語大学でトルコ語を学んだ後、トルコ共和国イスタンブール大学(院)に留学。1997年~2001年イスタンブールで過ごす。通訳やマスコミのコーディネーターをしながら、1999年におきた「トルコ北西部地震」の復興支援事業にもボランティアとして関わる。現在は、(公財)箕面市国際交流協会が地域の国際化を促す様々な事業に取り組むほか、重度の身体障害者のみで構成される劇団「感変」の発行する情報誌「イメージ」の編集にも携わっている。2018年度より朝日新聞のWEBオピニオン媒体「論座」執筆者(政治・国際分野)、2019年度より(一財)自治体国際化協会の多文化共生アドバイザー。

第2回 京丹後市国際交流協会 事務局次長 ^{あさだ ともこ} 麻田 友子 氏

2008年11月から京丹後市国際交流協会勤務、翌年日本語教室の立ち上げを行う。2012年に多文化共生マネージャーとして認定を受ける((一財)自治体国際化協会)。「京丹後市多文化共生推進プラン」策定時には、第1次(2014年)、第2次(2017年)とも策定委員会の事務局を担当した。2016年4月熊本地震での「災害時多言語支援センター」の活動に参加。現在は本務の他、特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会理事及び京都府地域日本語教育コーディネーターを務める。また、2015年以降、「多文化共生の実践コース」(旧「多文化共生マネージャー養成コース」)の研修講師としてJIAMに出講。

■一般財団法人自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

- ①地方公共団体に属する職員 研修費(6,500円)を助成
※地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっておりますので、ご注意ください。
 - ②地域国際化協会、市町村(特別区を含む)の国際交流協会に属する職員
地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組む 研修費(6,500円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成
NPOまたはNGOで、地方公共団体又は、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員
- ※詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。
TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。



修了証書

令和4年度第1回多文化共生の地域づくりコース

沖縄県 那覇市

前泊 美紀 様

あなたは上記の研修において所定の課程を履修し
これを修了したことを証します

令和4年8月26日

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学 長

植松 浩



令和 5 年 2 月 5 日

那覇市議会議長 様

会派名 無所属の会

議員名 前泊 美紀



出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

期 間	令和 5 年 2 月 3 日 ～ 令和 5 年 2 月 3 日 泊 1 日	
月 日	日 程	内 容
2 ・ 3	自治体 DX、総合評価と行政評価・見直しの在り方を考える	自治体 DX のあるべき姿の実現に向けて
2 ・ 3	同 上	自治体経営改革の実現に向けて 総合計画・行政評価・見直しのポイント

市内を含む旅費明細 (1 名分)

航空賃	宿泊費	交通費	負担金	その他	合 計
円	円	円	25,000 円	円	25,000 円

[所 見]

自治体 DX の全体像は「徹底的にデジタル『も』使った行政経営力と地域経営力湖城を目指した営み」で、重要な点は「効率性と個別住民・事業者へのカスタマイズによる成果志向 (EBPM)」で「個に何をすべきか」ということ。DX以前に、デジタルに頼らない行政改革・業務改革の視点と生産性向上を図る取組みの重要性を学んだ。

第 5 次那覇市総合計画が中間見直し作業に入っている。計画のチェックでは、「対象・目的・目標・手段ごとに動向と要因を徹底的に分析」することが重要である。行政評価の在り方やコロナ禍を経て総合計画の在り方を見直した例など他自治体の事例も参考になった。今後、議会での調査にいかしていきたい。

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領収証

No.

那覇市議会
前泊美紀 様

2023 年 2 月 3 日

金額 **¥25,000**

内
消費税等

但 2月3日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

現金	



〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



充当額 25,000円

議員・職員のための

同時開催！
オンラインセミナー

自治体DX、総合計画と 行政評価・見直しの在り方を考える

DX

2月3日(金) in 京都



講師: 若生 幸也

【株式会社日本政策総研 副理事長・研究主幹】

金沢大学法学部公共システム学科を卒業後、東北大学公共政策大学院修了。2008年株式会社富士通総研に入社後、北海道大学公共政策大学院講師、株式会社富士通総研公共事業部、北海道大学公共政策大学院研究員を兼任、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員等を経て、2022年より現職。主な著書に主な共著に、『地域を創る！「政策思考力」入門編』、『自治体経営リスクと政策再生』、『指定管理者制度 問題解決ハンドブック』等多数。

10:00~13:00

自治体DXのあるべき姿の実現に向けて

1. 次なる時代を考えるために
2. いま自治体で起きていること
3. 自治体DXを引いた目線で見よう
—デジタルに限らないトランスフォーメーション(行政改革・業務改革)の視点 —生産性向上(アナログ業務改革)
4. ついに本題、自治体DX —自治体DXの視点 —自治体DXの事例
5. 意見交換

14:00~17:00

自治体経営改革の実現に向けて

—総合計画・行政評価・見直しのポイント—

1. 総合計画策定に取り組む背景と実効性の高い計画とする要件
2. これからの総合計画におけるPDCAサイクルの要素
—Pのポイント・Pの実践 —Cの実践 —Aのあり方
3. 行政評価の課題とEBPMの観点
4. 行政評価の見直し方法
5. 意見交換

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに
 をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	
お名前	
貴議会名	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒 -)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@

2月3日(金) 10:00 ~ 13:00 京都
自治体DXのあるべき姿の
実現に向けて

2月3日(金) 14:00 ~ 17:00 京都
自治体経営改革の
実現に向けて

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに をお願いいたします。

オンライン受講

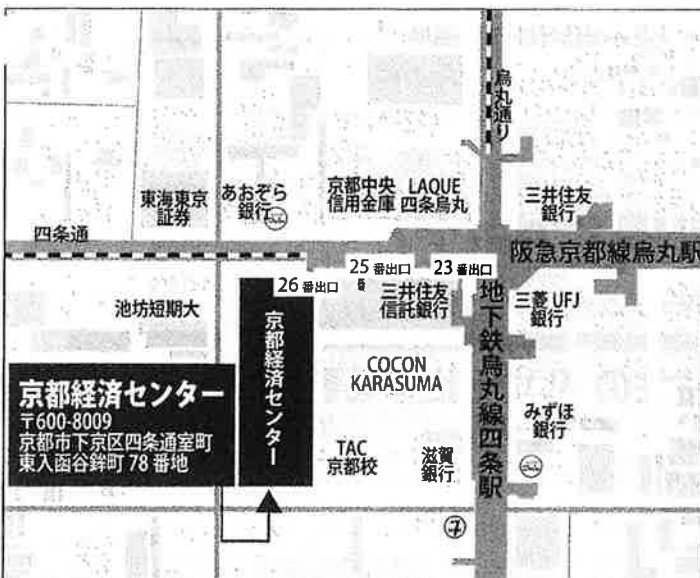
※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき1つの講座の申し込みが必要です。1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000円(税込)

2講座受講 25,000円(税込)

開催場所

京都経済センター

地下鉄烏丸線四条駅

北改札出ですぐ

阪急電車京都線烏丸駅

26番出口直結

京都市営バス四条烏丸

徒歩すぐ

地下鉄京都駅より烏丸線

乗車3分

阪急電車河原町駅より京都線

乗車2分

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6

<https://www.gikaisoken.jp>

TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

令和 5 年 2 月 13 日

那覇市議会議長 様

会派名 無所属の会

議員名 前泊 美紀



研修受講報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

期 間	令和 2 年 2 月 9 日 ~ 令和 2 年 2 月 9 日 泊 1 日	
月 日	日 程	内 容
2・9	性への多様性をふまえた住みやすいまちづくり	「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる」～多様性が尊重される社会へ～
2・9	同 上	LGBTQ の住宅問題
・	※オンライン受講	
・		

市内を含む旅費明細 (1 名分)

航空賃	宿泊費	交通費	負担金	その他	合 計
円	円	円	25,000 円	円	25,000 円

[所 見]

当事者である講師の切実な体験談を交えた講義から、家族の多様な築き方や支援の重要性等を学んだ。選択肢のひとつである非配偶者間人工授精には全体として課題も多い。望めば誰もが子を産み育てられる仕組みを、国の施策として進められるよう、ファミリーシップ登録制度を開始した本市でも支援の在り方を構築していきたい。

セクシュアルマイノリティの住宅問題について、学術、住宅政策領域からアプローチした調査結果速報から、公営住宅、民間賃貸住宅や不動産市場、シェアハウスの試みなど、現状と課題を幅広く学んだ。市の住宅施策にいかしていきたい。

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

3

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収証

No.

那覇市議会
前泊美紀 様

2023 年 2 月 9 日

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 2月9日セミナー(オンライン)受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

収入印紙



充当額 25,000円

議員・職員のための

性への多様性をふまえた 住みやすいまちづくり

2月9日(木) in 京都

同時開催！
オンラインセミナー

10:00～13:00



「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる」 ～ひとりひとりの多様性が尊重される社会へ～

1. 性の多様性、それぞれのあり方
2. LGBTQ、SOGI、SOGIハラとは
3. 性的マイノリティの人権課題について
4. いじめ、暴言、不登校、自殺念慮等について
5. 幼少期から学生時代に直面する困難について
6. カミングアウト、就職活動時の困難について
7. 多様な家族の在り方、困難や課題について
8. 誰もが住みやすいまちづくりへ

講師: **清水 展人**【非営利型一般社団法人日本LGBT協会代表理事】

1985年に長女として生まれ、18歳で性同一性障害(現:性別違和)と診断を受け、治療や手術を行う。現在は、全国各地の学校・企業・行政での研修やコンサル・著者として活動。自身の人生経験を糧に、専門知識、実績を生かし、全国各地の学校・企業・行政・向けの研修や上場企業から中小企業向けの研修会の講師・コンサルタント・著者として活動。医療専門学校非常勤講師。専門は精神医学、精神障がい治療学、臨床心理学等。主な著書に『アメリカ・ロサンゼルスにおけるLGBT支援の現場』総合教育出版『今とこれからがわかるはじめてのLGBT入門』主婦の友社(教養・社会ランキング1位)など多数。

14:00～17:00



LGBTQの住宅問題

1. データから見る性的少数者の住まいの不利
2. 民間賃貸住宅市場の仕組みと課題
3. LGBTQへのサービスを展開する先駆事例
4. 不動産市場から排除される当事者への支援の必要性
5. LGBTQ支援自治体にできることは

講師: **葛西 リサ**【追手門学院大学准教授】

神戸大学大学院自然科学研究科修了。学術博士。ひとり親世帯、DV被害者、セクシュアルマイノリティの住生活問題を専門とする。主な著書に、「母子世帯の居住貧困」、「住まい+ケアを考えるーシングルマザー向けシェアハウスの多様なカタチー」等。2009年都市住宅学会研究奨励賞受賞、2016年住総研研究選奨受賞、2019年都市住宅学会研究論文賞受賞。国土交通省「高齢者等の地域安心居住を支える住まいの整備水準に関する調査整理業務」検討ワーキング委員、国土交通省スマートウェルネス住宅等推進モデル事業専門委員を歴任。国土交通省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」専門委員を兼任。

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに
 をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	
お名前	
貴議会名	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒 -)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@

2月9日(木) 10:00 ~ 17:00 京都

性への多様性をふまえた
住みやすいまちづくり

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに をお願いいたします。

オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき1つの講座の申し込みが必要です。1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。

受講料 1日 25,000円(税込)

開催場所 京都経済センター

地下鉄烏丸線四條駅 北改札出ですぐ
 阪急電車京都線烏丸駅 26番出口直結
 京都市営バス四條烏丸 徒歩すぐ
 地下鉄京都駅より烏丸線 乗車3分
 阪急電車河原町駅より京都線 乗車2分



お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6
TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

<https://www.gikaisoken.jp>

廣 聽 費

令和 5 年 3 月 30 日

那覇市議会議長 様

会派名 無所属の会

議員名 前泊 美紀



広聴会実施報告書

政務活動費により、広聴会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

日 時	令和 5 年 3 月 18 日
場 所	沖縄県総合福祉センター 1 階 ゆいほーる
参加者	21 名
内 容	「ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういう支援があるべきなのかを考える」 メディア等では接しているはずが身の回りには見えにくい犯罪被害者問題について、被害者支援団体、被害者のご遺族、精神科医、マスコミ記者をセンターメンバーに、情報を共有しながら必要な支援と姿勢などを、参加者とともに考える場とする。
備 考	経費は、円卓会議開催支援費一式、会場費

[所 見]

犯罪被害に遭った場合、医療、法的支援、心理的ケアや生活支援等の福祉的支援、仕事に支障を来すこと転居を要する場合もあることから経済支援など、様々な支援を必要とする。また、早期援助団体の周知や社会の理解も未だ十分ではない。一人ひとりが社会的資源として正しい知識をもって寄り添うこと、自治体ができる支援を行うこと、前提として社会の理解のための周知啓発は、重要である。

円卓会議で、被害者のご遺族から直接お話しを伺えたことは大変意義深く、学生を含む参加者と課題を共有し意見を交わせたことは、今後につながる有意義な機会となった。

沖縄県は犯罪被害者等支援条例を昨年 7 月に制定した。地方公共団体には、予てより犯罪被害者等支援総合窓口が設置されているが、十分に機能しているだろうか。実効性のある支援のために、那覇市での支援の在り方を構築し、市条例の制定を目指したい。そのためにも、今後もこの課題について取り組んでいく。

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

1

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

3/18 地域円卓会議

領収証

那覇市議会 無所属の会
(前泊 美紀 議員) 様

金額 456,790円

但、『3/18(土) 開催 地域円卓会議企画・実施支援業務』
代金として

2023年 3月30日 上記正に領収いたしました。

公益財団法人みらいファンド沖縄
代表理事 小阪 豆
〒903-0824
沖縄県那覇市首里池端町34 2階
(電話) 098-884-1123



充当額 448,395 円

充当額内訳

1.円卓会議開催支援費一式 400,000 円

2.会場費 15,264 円

※会場費について 50%按分

$15,264 \text{ 円} \times 50\% = 7,632 \text{ 円}$

$400,000 \text{ 円} + 7,632 \text{ 円} = 407,632 \text{ 円}$

$407,632 \text{ 円} \times 1.1 = 448,395 \text{ 円}$ (税込)

充当額 448,395 円

令和5年3月30日

請求書

那覇市議会 無所属の会 (前泊美紀議員) 御中

公益財団法人

みらいファンド沖縄

代表理事 小阪

沖縄県那覇市首里池端町34-2

Tel/Fax : 098-884-112

下記のとおり、請求いたします。

件名 地域円卓会議企画・実施支援業務

御見積金額		456,790 円 (税込み)
科 目	金 額	内 容
I 円卓会議開催支援費一式	400,000	企画 (課題・テーマ設定・キャストینگ)
犯罪被害者支援円卓会議		開催準備 (現地事前打ち合わせ含む)
		当日運営 (司会・板書・オペレーション)
		当日運営 (スタッフ)
		収録技術者派遣
II 会場費	15,264	沖縄県社会福祉センターゆいホール
小計	415,264	
消費税	41,526	
合 計	456,790	



犯罪被害者支援地域円卓会議

ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういう支援があるべきなのかを考える

実施報告書

- 日 時： 2023年3月18日（土）13:30-16:10（受付開始13:00-）
場 所： 沖縄県総合福祉センター1階ゆいほーる（沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1）
主 催： 那覇市議会無所属の会
共 催： ～犯罪被害者支援～ひだまりの会 okinawa
特定非営利活動法人いのちのミュージアム
公益財団法人みらいファンド沖縄
協 力： NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】犯罪被害者支援地域円卓会議



- 日 時：2023年3月18日（土）13:30-16:10
- 場 所：沖縄県総合福祉センター1階ゆいぽーる
- 着席者数：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
（着席者のうち1名はzoom接続にて参加）
- 来場者数：21名（学生、行政、自営業等）

- 主 催：那覇市議会無所属の会
- 共 催：～犯罪被害者支援～ひだまりの会 okinawa
特定非営利活動法人いのちのミュージアム
公益財団法人みらいファンド沖縄
- 協 力：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供 前泊 美紀 氏（那覇市議会議員）

ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういった支援があるべきなのかを考える

私達がメディア等では接しているはずなのに、なかなか身の回りでは見えにくい、犯罪被害者問題を今回の円卓会議で扱います。自分や家族など身近な人がある日突然、犯罪に巻き込まれるというトラブルは予見しにくく、当然ながら準備もできずに「ある日突然生活が激変」してしまう事象です。今回は、犯罪被害者という境遇に陥ったとき起こる生活の変化を共有しながら必要な支援と支援にあたり必要な姿勢も参加者と考える場にしたいと考えています。

センターメンバー



前泊美紀
那覇市議会議員



河井由美
～犯罪被害者支援～
ひだまりの会
okinawa
代表



上原義教
交通犯罪被害者
遺族



高木久志
～犯罪被害者支援～
ひだまりの会
okinawa
会員



池原泰子
沖縄県犯罪被害者
等支援アドバイザー、
沖縄被害者支援
ゆいセンター
前事務局長



佐村瑞恵
医療法人
社団輔仁会
田崎病院
精神科医



上地依理子
NHK 沖縄放送局
記者

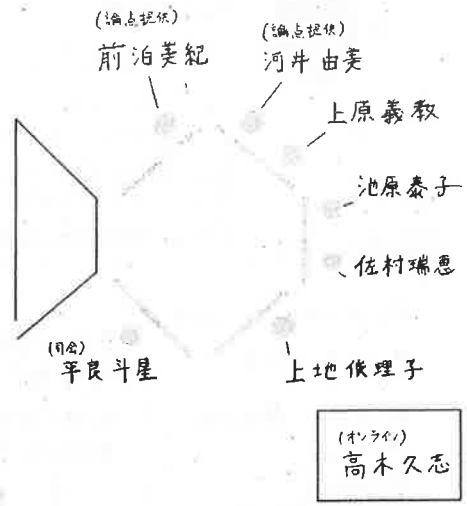
<板書記録>

犯罪被害者支援 地域円卓会議

ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういった支援があるべきなのかを考える

2023年3月18日(土) 13:30-16:10 ① 沖縄県総合福祉センター1階 ゆいぽーる

- 主催 那覇市議会期所属の会
- 共催 ~犯罪被害者支援へひだまりの会 Okinawa、特定非営利活動法人いのちミュージアム、公益財団法人みらいファンド沖縄
- 協力 NPO法人まちなか研究所わくわく



2023. 3. 18

板書記録

論点提供

ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういった支援があるべきなのかを考える

前泊 美紀 氏

那覇市議会議員
無所属の会

著者者 紹介



那覇市議会 議員
前泊 美紀 氏

1972年、那覇市生まれの現役女子
琉球大学大学院修了(法学修士、司法専攻)
ケーブルテレビ記者第二コースキャスターを経て、2009年より
那覇市議会議員(現在4期目)
5選に輝き子育て支援の立役者となる無所属の会代表
第10回マニフェスト大賞優秀候補賞
第13回第14回マニフェスト大賞実行委員長
議会改革、市民の政治参加に力を入れ
一期目より「犯罪被害者支援条例の制定」を公約に掲げる

2023. 3. 18

「犯罪被害者支援条例の制定」と公約へ
住まいの確保 (課題)

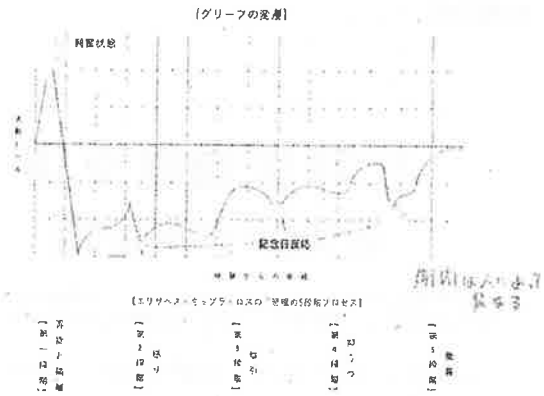
県が条例をつた
総論賛成
各論にキモ) という反応 ← 那覇市
自治体にどう伝えれば、

理念条例ではなく、
実効性ある条例に向けて

被害者紹介



～犯罪被害者支援へひだまりの会Okinawa 代表
河井 由美 氏
 1968年生まれ。宮野崎出身。
 上京して大学を卒業し、東京の出版社で2年勤務したのち、退職。
 復帰後は1993年に故川原正明氏が経営する学習塾（生徒約1800名を擁する県内最大学習塾株式会社）に入社後、結婚。
 2005年2月、幹部社員に昇格し専任により正社員となる。
 その後、16年間に渡り、働き先の職を退職会社代表を務める。
 事件後の2006年8月に刑事裁判が結審した後、翌9月、犯罪被害者支援自助グループ「ひだまりの会Okinawa」を立ち上げ、現在も代表として、県内外の犯罪被害者に対して支援活動を継続している。
 2022年11月、沖縄県犯罪被害者等支援協議会常任委員に就任。



犯人みつかるまで 2ヶ月
 3・0才の子ども
 眠れない・食べれない
 ↓
 何かわかるまで
 まま数年がたった

生活が激変する
 被害者のおかれた立場
 裁判（1年ちょっと）後
 自助グループつながる（県外）
 ↓
 会を立ちあげた

HPたちあげた
 全国の自助グループへ参加
 グリーフケアとの出会い
 ショックな出来事あったとき
 何かおこるのか
 家族の中もそれぞれ
 うけとめお異なる

3 2023. 3. 18

交通犯罪被害者遺族
上原 義教 氏
 2019年、東京東池袋自動車暴走死傷事故で娘（当時31歳）と孫（当時3歳）を亡くす。
 事故後、娘の夫と共に被害者参加制度を利用し公判に参加。公判後は欠かさず記者会見を開いて繰り返し思いを語ってきた。
 判決後も「悲しい思いをする交通事故がなくなってほしい」という思いで、交通事故の防止に関する活動を続けている。

東池袋自動車暴走死傷事故

2019年4月19日 松永真菜さん（当時31歳）と長女の初子さん（当時3歳）が死亡。他9人が負傷。犯人の飯塚幸三（当時57歳）被告自身も怪我を負ったため、退院後逮捕、起訴となる。

2021年9月2日 検察側の禁錮7年に対し、裁判所は禁錮5年を言い渡した。

2021年9月17日 井筒朝、検察側とも控訴せず、求刑どおり禁錮5年が確定した。



連絡うけて 東京へ
 信じられない
 直ぐしかできなかった
 東京行くこと反対してれば...
 ↓
 自分をせめて、夜も眠れるへ

仕事にも手がつかず
 その後退職
 世界で一番辛かったと思ってる
 それが一瞬で
 妻もその3年前

命を断つことも考えた
 今、生きている
 東まで裁判しなっていけない
 経済的にも大変だった
 4年たっ
 まだ夢のよう
 眠ることができない
 お酒をのまなくて
 2019・秋には 沖縄で
 い、しゃべり出す予定だった
 家も手ばなした→借金もなし

4 2023. 3. 18

推薦者 紹介



～犯罪被害者支援～ひたまりの会Okinawa会員
高木 久志 氏

五年前、大分にて、トラック転落を要け、
息子が死亡、潰された家族の心が崩壊。
交戦戦争の地獄に突き落とされた。
ほぼ支援されず自力で前進所を探してまわった。
速り速いたのかひたまりの会Okinawa、
そこから、復讐の会と参議院らと共同開始。
被害者支援や交通事故実証について、
国や県から、個人や会から謝罪書送らなど実績。
妻は「命になつた自死」の執筆や講演も実施。

自力で支援にたどりつくしがない。
また、たぐいえず、くやしさとばかり
今までの自分でない自分が出てきた
加害者・犯人へのいかり おににがねた
法・警察など、もて被害者によりそってほしい
→ ほきださないとハレクしうだった
ひたまりの会へ
条例 → 理念

5 2023. 3. 18

警察も何も説明ない

交通事故は「犯罪」か → あいまい

「犯罪被害者支援」の対象外なのか

通達もすみずみまでみるこいさ書いてる

メンタルケア — 公費負担?

はーしる金で?

連絡事項「やりなくてもいい」 — 本当は?

も、こわがりや可くメニュー化して

助けてくれてもよいのでは

制度 経済 メンタルなど

メニュー — 説明

警察からの受けき

自治体と警察とのつながり

V12.5 (2022)

被害者支援室

来て、守って
くれる人が居る

推薦者 紹介



沖縄県犯罪被害者等支援アドバイザー
沖縄被害者支援ゆいセンター前事務局長
池原 泰子 氏

沖縄県読谷村出身。
警察官として41年勤務
(定年前の4年間(現職本部DV・ストーカー対策補佐)
2015年～2022年
公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター事務局長
2023年より、沖縄県委託業務「沖縄県犯罪被害者等支援
アドバイザー兼総括責任者」(現職)
沖縄県公安委員会より「犯罪被害者等早期援助団体」として
指定を受けたゆいセンターの事務局長兼犯罪被害者相談員
として、多数の支援事業に参与。

県 消費くらし安全課 } 窓口の1つ
3年で要勤 } 上げて

市町村も同じ

窓口で対応できる人材育成
各市町村

6 2023. 3. 18

警察 ができない支援をゆいセンター

事件・事故すぐ後
まず「つながり」のは 警察

警察・団体キカン

日本財団
給付金

制度いろいろあるが、
つながりがないと使えない

県条例 → いろいろな制度できてくる

1つはつは ことも大事

被害者

被害にあつたこと職場に知られたくない
という人も

事業者の特別休カなど
みなで考えていけるように

著者紹介



医療法人 社団 輔仁会 田崎病院 精神科医

佐村 瑞恵 氏

1963年 東京都生まれ
1990年 埼玉大学卒業
埼玉大学病院入職
1993年 田崎病院入職、現在に至る
子ども・女性・老人を中心とした

〜本日の講演の動機〜
この場に参加できない被害者の方の声を少しでも代弁できればと思いました。
回復のために私たちにできることをとにも考えたいです。

被害の後遺症

(PTSD、うつ病、社交不安症・・・)

- ・フラッシュバック
- ・過覚醒
- ・回避
- ・感情調節障害
- ・対人関係

社会への不信感、他者への不信感、自分への不満足感 (特に信頼すべき相手からの被害の時)

回復とは・・・失った信頼を取り戻すこと

一見トラウマとは関係ないように見えることも

被害に遭った時に人はどう反応するのか

①ある日突然被害に遭う

- ・「フリーズ(固まる)・・・命を守るための原始的な反応
- ×「何で抵抗しなかったの?」「私が悪いってこと?」
- 二次被害の罪悪感、恥の感覚

②日常的なDVや虐待

- ・「順応」「殺られるお前が悪いのだ」
- ・自尊心の低下

- ・頭痛などの身体症状
- ・嗜癖(アルコール、薬物依存、ギャンブルなど)
- ・自衛行為、自後未遂
- ・徘徊
- ・引きこもり
- ・性的逸脱
- ・摂食障害
- ・人格障害
- ・発達障害

あなたの職場にこんな人が就職してきました。

Aさん
・PTSD
・「これはもう仕方ないから、もう仕事はやめてやる」
・「どうせ仕事にできる」
・「もう無理だから辞めてしまおう」
例なの？あの人、失礼な人ね
「さ、Aさんは、PTSDで、仕事に集中できなくて、辞めてしまおうと、悩んでたんだ。でも、PTSDって、治る病気じゃなく、症状が治る病気。だから、無理に仕事に集中させようとするのは、逆効果。むしろ、無理に仕事に集中させようとするのは、逆効果。むしろ、無理に仕事に集中させようとするのは、逆効果。」
・実はAさんはDVの被害者で、職場の人はそのことを知りません。

知らなくて支援はできるのか

7 2023. 3. 18

想像力

著者紹介



NHK沖縄放送局 記者

上地 依理子 氏

2021年4月、NHK入局、
沖縄放送局コンテンツセンター記者として事件・事故
取材を担当。

東京・池袋の暴走事故で娘と孫を亡くした上原純枝さんをはじめとする被害者家族、被害者支援について取材を続けている。

サブセッション



亡くなった後も取材することはない

心・メンタルのきずは一生

事故は一瞬

ニーズのちがいの/入った

経済的な苦しみを

個人レベルでたよってよのか

2重の苦しみを

二次被害 報道 想像力 知ることから一歩

8 2023. 3. 18



セッション2

基本的な支援

窓口的窓口

日常生活支援

経済的な支援

ヘルパー派遣
(生活サポート)

福祉サービス

引越などの住居

事業者の理解
(休カなど)

裁判費用

県民への伝え方

カウンセラーへの助成

病院へのつきこい

弁護士相談への弁護士会

マスコミ対応

窓口がつかない

ゆいセンター(金ヒキフ)

財源

保険の中に
弁護士特約

制度あるのに
つながらない

してしているから調査
情報の透明化

ゆいセンター

各病院

市町村

地域

つない

支援が必要
な被害者

どうすれば

事件直後から

支援につながるには

最初に顔あわせの人が

つないでくれること

海外
の事例

中野区
の事例

行政
3年の異動で
対応かわる

9 2023.3.18

▶ 今後のアプローチの方向性 (提案仮) ※以下、前泊さん、斗星さんの総括より作成

- ▶ 犯罪被害者が早期に必要な支援につながるために、行政内での相談対応の体制づくりや地域組織などが支援制度、団体について知るしくみづくりが必要
- ▶ 従来の支援制度を整理し、制度につなぐことを担保しながら、犯罪被害者支援の条例化を目指す
- ▶ 犯罪被害者支援と併せて、県や市町村で分担をしながら犯罪被害者支援団体への財源等の支援も必要

■参加者によるサブセッション

ある日突然生活が激変してしまう、犯罪被害者という境遇に陥ったとき、そこにはどんなニーズが発生し、どういう支援があるべきなのかを考える

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・ 窓口（ワンストップ）で繋がる
- ・ セミナー（勉強会）で学ぶ
- ・ 行政側の専門職の配置
- ・ 長期で話を聞く存在

②

- ・ 行政の窓口の想像力が足りない
- ・ 予算がない！と
- ・ 県のメニュー（支援）も整理されてない
- ・ 明示されることから（担当者によらない）
- ・ 専門家の横の連携がほしい（→行政が）

③

- ・ 被害者は弁護士に任せていて、何をしたいかわからない、置かれている立場もわからない
- ・ 被害者の支援があまりなされていない
- ・ 支援のネットワークが行き詰まったとき、何を伝えたらいいのか、考えているヒマがない。取り残されているような…（機会と人がいるだけでなく）
- ・ 真実を知ることが危ない、寄り添ってほしい

④

- ・ 経済面→給付金、ゆいセンター、緊急支援金、転居・治療・葬祭費 etc…
- ・ 心理的ケア→離島支援、アウトリーチ
- ・ ワンストップ支援、事件が起きた時点で各分野の支援者がかけつけて役割分担、児童・弁護士・センター（各機関連携）

⑤

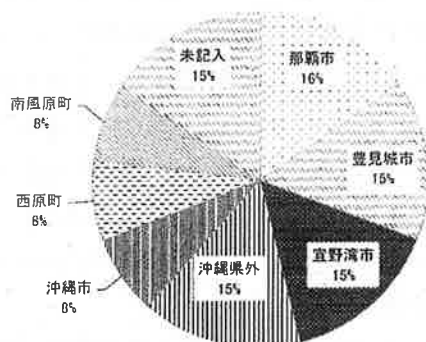
- ・ 交通事故はとつぜん起こるので自分も加害者の可能性もある。被害者にも。
- ・ バイク運転している。初心者マークもついていたころのきんちょう感、雨ふる時は、より安全うんてんをするようにするから、少しあんしんする。支援の対象にならないことはダメだよな、いわかんを発信
- ・ 学校いく時、横断はどうで、車のマナーわるい人おおい、あぶない。いつひがい者になるかわからない
- ・ 心理学専攻、カウンセリング室でひがい者をまっていたが、今はアウトリーチする形がふえている、ケーサツから、支援について話をするしくみを。自分がひがいにあったことをうけいれない
- ・ ひがい者には何どもなんども支えんサポートをつなげる。
- ・ 性ひがいは、ワンストップセンターへ。しかし交通はワンストップセンターがない！ゆいセンターがやくわり。
- ・ 紹介→ぼうかんとつなぐこと→きもちをくむよりそうのちがい
- ・ 大変な時は判断しづらい→情報のせんたく
- ・ 専門職サポート、せいどのはざま
- ・ ケーサツとカウンセラーしどう対応
- ・ ケーサツ官のメンタルケアのまなざし
- ・ 理不尽

犯罪被害者支援地域円卓会議 参加者アンケート集計

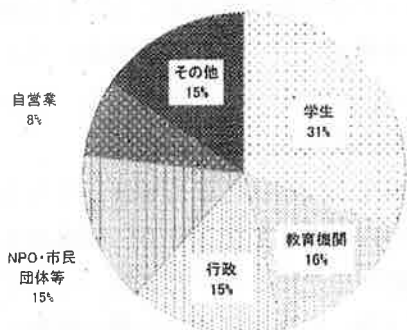
◆概要

- ・日時：2023年3月18日（土）13:30-16:10
- ・場所：沖縄県総合福祉センター1階ゆいぽーる
- ・着席者：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
着席者のうち1名はzoom接続にて参加
- ・参加者：21名（アンケート回収13名、回収率62%）

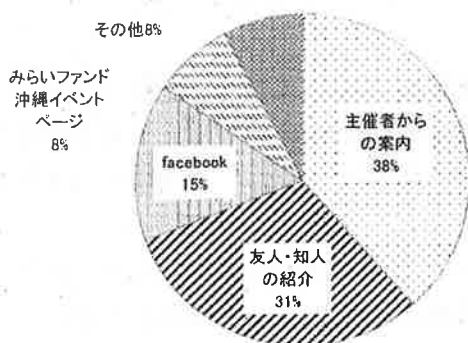
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.8（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
11名	2名	0名	0名	0名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ 実際被害にあった方からのお話をきくことができたから
- ・ 参加されている方がさまざまな分野の方でいろいろな視点で考えることができました。
- ・ 私自身が10月に交通事故で飲酒運転が前から突込んでくる事故にあいました。今日の今日まで感情的になったりしなかったのですが、話を聞いて初めて認知した感覚に落ちいました。今回参加できてその部分に気付かされたと思います。
- ・ 犯罪被害の方々のお話を聞くことが初めてだったのでとても考えさせられました。
- ・ 内容はかなり考えさせられるものでした。ただ参加者に警察・検察・関係機関がほとんどいなかったのもったいないと思いました。ぜひ警察等の関係者に聞いてほしい。
- ・ 色々な話しが出来た。新たな視点から考えることが出来た。
- ・ 当事者の方、支援者、制度に関わる議員の方など、多角的なお話、取組みのヒントを聞いて勉強になりました。
- ・ 貴重なお話、簡単ではないテーマで、濃密な時間となりました。話しあいやふりかえりのしかた、みのりある機会とするための、運営をみせていただいたことも大きな学びになりました。
- ・ 犯罪被害者支援というテーマについて、県

議会の方や当事者、医師、記者など、様々な立場の人からの話を聞いたことで理解が深まり、私たちにできることを考えやすかったからです。

今回犯罪被害者がいつどのような犯罪を自分あるいは自分の関係者が経験したということを知りただけでなく、参加してくれた大人の人達とグループをつくってそれぞれの意見や考えを伝え合い、大人は犯罪被害者についてどう考えているかというのを知ることができたからです。

ニュースなどでよく交通事故について報道されていたけど、私はその時の被害者の心情にばかり注目していて、その後の経済的な苦勞や心のケアについては考えていなかったの、そのことに気づける貴重な機会となっからです。

(4. 概ね満足)

- ・ 発信者(センターメンバー)の顔もスクリーン(画面)に写る形にできるとより情報が伝わるのでは? ※注文が多くてすみません
- ・ 当事者のリアルな声を聞くことができた。知らなかった支援制度を知ることができた。

6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 参加者の声を多くとりあげること、次につながるとりくみであると感じました
- ・ 上原さんのお話をきけたのは大きかったです。ゆいセンターを知らなかったので紹介したいと思いました。問い合わせの件数が増えることで予算とかかけることに繋がれたらと思います。
- ・ 高校生も参加していてとても頼もしいと感じました。
- ・ 高校生が学校でも考えていきたいと話して学校で円卓会議開催してほしいと思いました。
- ・ 犯罪被害者も加害者も出さない取り組み!

ゆいセンターのアウトリーチ、中野区の話は自分でも調べてみたい。

- ・ 初動からつなぐ制度、存在、ひとの必要性、回復 - (さまざまな)自分、他人、他者、社会への信頼をとりもどすこと。

支援をつなぐということが印象に残った。被害に合うと混乱するのが当たり前なので、被害者が自ら動くのではなく、周りの方がひだまりの会などにつないであげるのが大切だと思った。動線がしっかりしていると対応しやすい。

- ・ 印象に残ったことは、今回ゆいほーるに来てくれた犯罪被害者の方が犯罪について語ってくれたり解決策などについて話し合い、それだけでなく参加した大人の方達とも犯罪について話し合い大人の考えを知れたことです。また「いかにどう発信するか」というアイデアは自分の脳内になかったので良いなと思いました。

- ・ 警察からゆいセンターなどの被害者支援センターへとつながりやすくするのが大切ということが印象に残りました。また被害者への支援として、事件事故が起こったときにカウンセラーなどと密に協力していくのがいいと思いました。

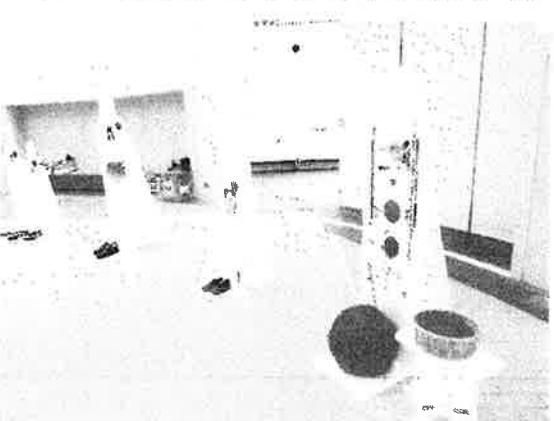
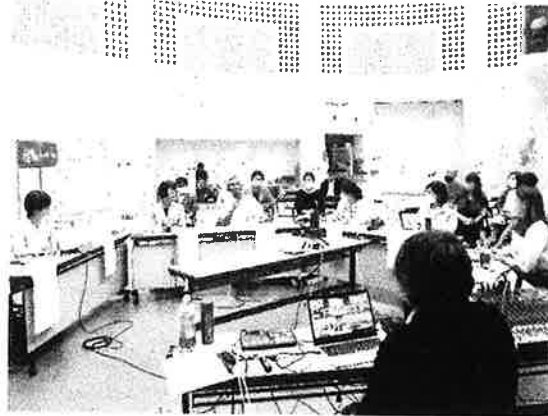
- ・ 被害者搬送先病院に被害者遺族を守ってくれるサポーターを派遣する。被害者支援情報が拡がるための市町村条例。これまで被害者は厳しい状況にあった事に驚きました(ゆいセンター、国や県からの助成がない?)

7. 会議運営についての意見、感想

- ・ 今回貴重な機会を下さりましてありがとうございました。つなぐ を考えていきたいです
- ・ 自分の気持ちに整理ができました。自分はまだ寄り添うことしかできないと思いました。

- ・ 久々に対面での円卓会議に参加させていただきました。とても有意義なものになりました。ありがとうございました。
- ・ もっと多くの支援者の方々に参加していただきたい。
- ・ 時計を設置してほしかったです。
- ・ 時間の流れがあっという間でした。「困ったら人はつながる」という社会に戻す活動に感謝です。
- ・ ハイブリットの運営は大変だったと思います。円卓形式はよかったです。タイムマネジメントに関して時間を過ぎる場合、一度区切っていただけるとありがたいです。

(写真) 会場の様子



<サブセッション 記録用紙>

- ・ひがし君には、何とせ、なるとも
すべしサポートを要する。
- ・指導員が11は、ワンドクターの
ゆかし、交通は、ワンドクターのゆかし
VPセンター ←
- ・紹介と、つなぐことのちがいは、
↓ 情報の
↑ せんた
↑ 大きなとき
↑
- ・専内職、せいのほさま、
↑ 判断しやす
↑
- ・11-サリとカリンセラ-しよん
↑
- ・11-サリ官のメンタルケアの、
↑ 手直し
↑
- 理天尽

- ・不慮事故は、~~事故~~とつたおき、
日毎に事故の可能性がある。ひがし君は、
- ・バウマンさん。初心者マークも、
さんさう感。雨ふるときは、より安全な道を
務めようとする。いかにする。
- ・支援の対象にならなことは、
いかにして発信
- ・学校行く時、横断はとて、車のマ
あることある。あるは、
いつひがし君になるからた
- ・11心理学専攻、カウンセリング室で
ま、
ふたつ、今は、アウトリーチする
話を話しくせ。
- ・自らが11にあつたことをうかがう

行政の窓口の想像力が足りない
予算が11!と

県のX=ユ-（支援）も整理されて、
明示されることから、(担当がよらな)
専門家の横の連携がほし。(→行政)

窓口(ワンドクター)と繋がって
セクター(勉強会)が学ば

行政側りの専内職の配置
長期で話を(南)存在

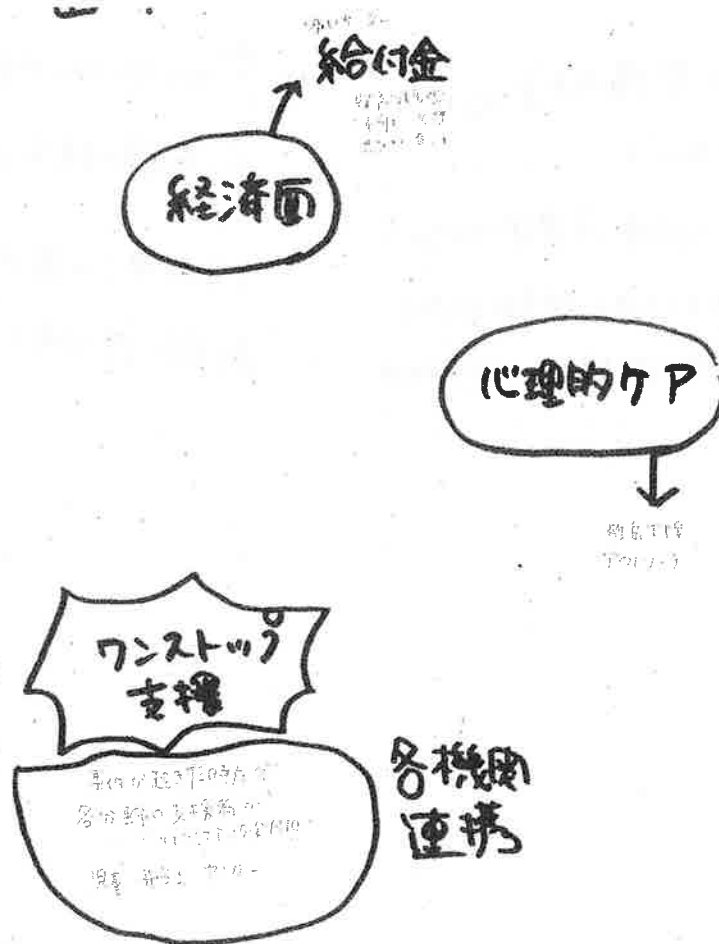
★ 被害者自身が主たる責任を担い、何をしていいかわからず、置かれている立場を分析する

★ 被害者の支援が必要だと認識する

★ 支援の本質が「何が役に立つか」ではなく、何を伝えたいのか。考えていることが大切

取り残されているように... (機会と人がいるはず)

★ 真実を知ることが危ない。受け止めるべき



資料購入費

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

1

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

2022年/4月～2023年/3月分まで¥5,390×12か月=¥64,680 充当

領 収 証

前泊 美紀

殿

¥ 194,040

但し 日経グローバル 2021年11月～3年購読代金として

上記の金額正に領収いたしました

2021年 12月 17日

東京都港区虎ノ門 4-3-12

株式会社 日経BPマーケティング

扱 印

充当額 64,680.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

/

領収書 No①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

議員NAVI Plus新聞

2022/4月～2022/8月充当

1,650×5か月分=8,250

請 求 書



：前泊 美紀 様

2021 年 8 月 12日

請求額 ¥19,800 お客様番号 [] 請求書 [] お支払期限日 2021/ 9/30

取引年月日	商 品 名	明 細	号数量	単 価	契約数	金 額	備 考
2021/ 9/ 1	議員NAVI Plus	ご利用期間 2021/ 9~2022/ 8		千 円	1	19800	

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

	金額 (税込)
1.0%対象	19800
合 計	19800



充当額 8,250.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

2

領収書 NO①

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

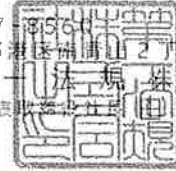
議員NAVI Plus新聞

2022/9月～2023/3月充当

1,650×7か月分=11,550

請求書

〒107-8561 東京都港区南青山2丁目11番17号
 第一法規株式会社
 代表取締役社長 中英 弥



：前泊 美紀 様

2022 年 8 月 10 日

ご請求額	¥19,800	お客様番号		請求書番号		お支払期限日	2022/ 9/30
------	---------	-------	--	-------	--	--------	------------

引年月日	商 品 名	明 細	号数量	単 価	契 約 数	金 額	備 考
2022/ 9/ 1	議員NAVI Plus	ご利用期間 2022/ 9~2023/ 8		円	1	19800	

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

	金額 (税込)	
10%対象	19,800	
合 計	19,800	

払込金受領証
 受取人 第一法規株式会社
 代表取締役 前泊美紀

19,800

※この請求書は、郵便局でのお支払の場合、左側の欄だけをお入れください。

充当額 11,550円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

7

領収書 NO①

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

請 求 書

前泊 美紀

様 令和 4 年 12 月 9 日

東京都江東区新木場1丁目18番11号(〒136-8575)

株式会社きょう

下記のとおりご請求いたします。

代表取締役 成 吉

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。(10%)

ご請求額 ¥13,000.-

お得意様No.
(請求No.)

お支払は令和 5 年 1 月 8 日までをお願いします。

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 介護保険・高齢者福祉		1	2300	2300	
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 公的扶助・生活保護行政		1	2000	2000	
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 医療保険・保健行政		1	2000	2000	
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 児童福祉・子ども子育て支援		1	2000	2000	
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 障害者福祉・精神保健福祉		1	2500	2500	
シリーズ 今日から福祉職 押さえておきたい 地域福祉・社会福祉協議会		1	2200	2200	

(振 込 先) (001)

(要打電項目) 対応あり

振込金受領証

振込人氏名
前泊 美紀

振込金額
13,000

内消費税等
1,182

受取人
株式会社きょうせい

受取印

収入印紙貼付欄

ICV5専用

2022.12.14

受取印

(お客様控え)

充当額 13,000円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

2

領収書 No①

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

失敗しないためのジェンダー表現ガイド

2023年03月07日

領収証

前泊 美紀

様

金額

¥1,650-

内クレジットカード利用計

¥0(内消費税等 ¥0)

内現金扱い等計

¥1,650(内消費税等 ¥150)

雑貨

¥1,650(内消費税等(10%) ¥150)

但し

書籍代と17

上記正に領収いたしました。

(株)丸善ジュンク堂書店 那覇店

〒900-0013沖縄県那覇市牧志1-19-29ティーナB1F~3

充当額 1,650円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

1

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2022年 5月 26日

書 籍 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	摘 要
社会生活六法手続・書式編	74	1	4700	4700	
	75	1	4700	4700	
(10%対象 9,400円 消費税 854円)					
				合計金額	9400 (税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

生活手続

お客様NO

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード

払込受領証
 前泊 美紀 様
 金額 9,400円
 受取人 新日本法規出版株式会社
 受領印
 176839
 2022.6.24
 那覇支店
 お客様印

充当額 9,400.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

2

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2022年 6月 13日

書 籍 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	摘 要
誰にもわかる社会生活六法—法律相談Q	77	1	3193	3193	
& A—	78	1	2882	2882	
(10%対象 6,075円 消費税 552円)					
				合計金額	6075 (税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

生活六法

お客様No

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード



充当額 6,075.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

3

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2022年 8月 18日

書籍名	追録号数	数量	単価	金額	摘要
Q&A 子どもをめぐる法律相談	37	1	4618	4618	
	38	1	4525	4525	
(10%対象 9,143円 消費税 831円)					
				合計金額	9,143 (税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

子ども法律

お客様No

1部

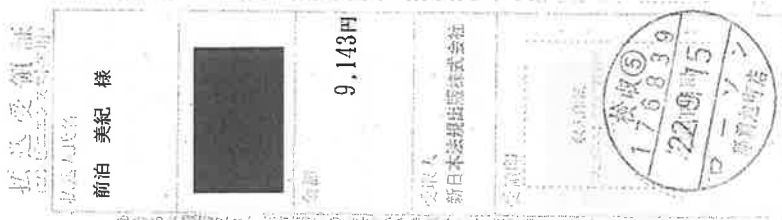
新日本法規出版株式会社

代表取締役社長

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード

取引銀行



充当額 9,143.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

4

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

ご納本No

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2022年 8月 25日

書 籍 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	摘 要
誰にもわかる社会生活六法—法律相談Q & A—	79	1	5365	5365	
(10%対象 5,365円 消費税 487円)					
合計金額				5365	(税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

生活六法

お客様No

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

指定業者コード

取引銀行



充当額 5,365円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号 5

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

ご納本 [Redacted]

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2022年 10月 26日

期

書籍名	追録号数	数量	単価	金額	摘要
社会生活六法手続・書式編	76	1	4842	4842	
(10%対象 4,842円 消費税 440円)					
				合計金額	4842 (税込)

取

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

[Redacted]

生活手続

お客様No [Redacted]

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役社長 [Redacted]



〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

812- 728

指定業者コード

取引銀行 [Redacted]

払込受領証 (印)	払込人氏名 前泊 美紀 様 [Redacted]	金額 4,842円	受取人 新日本法規出版株式会社 [Redacted]	受領印 [Redacted]	お客様印 [Redacted]
	<small>※この領収証は、郵便送付のお支払の領収書は、本領収証の複製をお使いください。</small>				

充当額 4,842.円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

6

領収書 NO①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

2023年 2月 13日

下記のとおりご請求申しあげます

書 籍 名	追録号数	数量	単 価	金 額	摘 要
Q&A 子どもをめぐる法律相談	39	1	4716	4716	
	40	1	4622	4622	
(10%対象 9,338円 消費税 848円)					
合計金額				9338	(税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

子ども法律

お客様No

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役 謹

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先: 電話<092>771-0866 (代)

1879-1305

指定業者コード

取引銀行

払込受領証
（コンピュータ処理専用）

振込人氏名 前泊 美紀 様 [Redacted]	金額 9,338円	受取人 新日本法規出版株式会社	印 23.02.05 17697
--------------------------------	--------------	--------------------	------------------------

充当額 9,338円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号

7

領収書 NO. ①

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

下記のとおりご請求申しあげます

2023年 2月 22日

書 籍 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	摘 要
社会生活六法手続・書式編	77	1	5,155	5,155	
(10%対象 5,155円 消費税 468円)					
				合計金額	5,155 (税込)

900-0021

那覇市泉崎1-1-1-4F

那覇市議会事務局
前泊 美紀 様

生活手続

お客様No

1部

新日本法規出版株式会社

代表取締役 謹

〒460-8455 名古屋市中区栄一丁目23番20号
ご照会先 電話<092>771-0866 (代)

2122- 661

取引銀行

指定業者コード

払込受領証 払込人氏名 前泊 美紀 様	金額 5,155円	受取人 新日本法規出版株式会社	受領日 23.3.03
---------------------------	--------------	--------------------	----------------

充当額 5,155円

令和 4 年度

議員名 前泊 美紀

整理番号 /

領収書 No. ①

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

沖縄建設新聞購読料領収書

前泊 美紀 殿 2022 年 02 月 01 日

振込金額	¥33,000
2022/04/01~2023/03/31	30,000
消費税額	3,000
合計	33,000

※上記金額領収致しました。

振込口座番号

領収日付印

出納済

4. 6. 3

琉球銀行 浦添支店

6

県庁内出納

※取扱店 ↓ 振込人宛交付

株式会社 沖縄建設新聞
沖縄県那覇市泊3-5-6 TEL(代表)098-867-1290

ご注意 銀行の領収印なきものは無効です。

充当額 33,000円